



# スマイル天神 No.18



令和3年9月1日  
天神小学校  
校長 木下 和弥

思いやりのある子・進んで学ぶ子・明るくたくましい子

## 前期後半開始です

学校だよりの前号(No.17)では、前期前半最終日の校長講話の内容をご紹介しました。要は、「時間を大切に過ごすことの大切さ」でした。

私は、自分自身にも宿題を課しました。40日間で以下の目標を立てました。

- ①本(漫画や雑誌は除く)を10冊読む。
- ②校長室の断捨離を行う。
- ③150km走る。

結果的には、なんとか達成できましたが、③が大変でした。7月終わりに少しだけ体調を壊したことで、8月に雨が続いてなかなか走ることができず、お盆後の暑い中に集中的に走るようになってしまいました。ただし、「できなかったことを後から取り返す」ことができるのは良かったです。「毎日、早寝早起きをする・朝6時30分からラジオ体操をする」など「できなかったことを後から取り返せない」めあてであれば難しかったと思いました。

さて、子どもたちは、どのような夏休みを過ごしたでしょうか。「毎日のめあてを確実に達成する」か、「毎日ではできなかったが、なんとか取り返して達成できた」か、「達成できなかった」か…。

大切なことは、その達成状況を確認し、達成できなかった場合は、その理由を考えたり、次は達成できるようにするために改善方法を考えたりすること、つまり「結果分析と改善策を考えること」が大切です。しっかりと振り返らせ、次に生かせればと思います。

## 9月からの学校経営

9月以降の学校経営について職員と話し合いを持ちました。子どもたちの様子を見て、素直な子どもたちが多いものの、各種アンケート調査からも、以下の点に課題があると捉えています。

- 廊下歩行    ○あいさつ    ○掃除    ○家庭でのSNS等メディア
- 先生や友達によって態度・対応がかわる傾向

私はすべての課題において、子どもたちが、自分をどう成長させていきたいか、どのような大人になっていきたいのか、目先の損得ではなく、「自己実現」の意識をよりしっかりと持たせることが課題解決の根本にあるように思います。

「この先生には怒られる(目先の損得)から、このように判断・行動する。」ではなく、「大人になったときにこんな自分になりたいから(自己実現)、今、自分はこのように判断・行動する。」でなければならないと思っています。

自分が困らないから掃除はしない。面倒だからあいさつはしないなど、目先の損得で考えるのではなく、掃除ができる人、整理整頓ができる人、きちんと礼儀正しい人のように、信頼される大人・自分の良さを最大限出し切れる大人になってほしいし、そのためにはどう判断し行動するかを考えてほしいと思っています。



天神小一徳運動 「気持ちのいいあいさつ」 ～あじさいあいさつを～

～あいての目を見て ①ぶんから ②わやかな声で ③いつでも・どこでも・誰にでも